



春日議員

### 「林業大学校」誘致の考えは

町長 誘致するかどうか意思をもっていない  
今後、情報収集していきたい

ある。

のは否めない。

だき、より良い施策になるということは、民主的な進め方としてはもっともなことだと思っている。

### 林業大学校誘致

**平成29年度  
予算編成方針等**

**質問** 前期2年間をどのように総括しているか。

**副町長** 遅れているのは事実。結果として策定に至っていない。

**質問** 行政・政治は結果責任だとすると、この2年間、町民の意見を聞いて議会に提案し、数度、熟していない、精査しなければならぬ、ということを取下げた。また、一部議会修正もあった。これを正常な姿の過程の一つだという考えか。または、異常、変則的だという考えか。どう認識されているか。

**質問** 先の道議会代表質問で、知事は、林業大学校を早期に検討する、と答弁されている。林業大学校を下川町へ誘致する考えはないか。

**再質問** 20年位前から、産業クラスターの取組の中で構想があり、道へも要望した経過もある。森林・林業の下川町にある意義は大きい。他の町との連携ではなく、まず、チャレンジをしていただきたい。町職員は京都の林業大学校へ行って教育課程、仕組み、システムなどを学んでいる。是非、誘致に動いてほしい。

**町長** 国などの財政支援や町財政の状況により、施行年度を変更して施策を推進している。

**質問** 環境未来都市構想の外部評価が行われたか。

**副町長** 条例に基づく本部会議、推進会議、評議委員会は開催していない。

**再質問** 財政的なこともあつて遅れている。うまく進まないと認識した。

**質問** 条例を守らないということは極めて異常事態である。住民の意思に従わないということである。

**町長** 修正をするというのは議会の権限である。行政側が提案したものが不備であったり、熟度が低かったものは、多くの議員で修正をかけていた

**質問** 条例に基づく行政改革をどのようにとらえているか。策定が遅れている理由は。

**町長** その時勢に必要な行政改革を進める必要が

**町長** 優先すべきものがある。後回しになってしまったという

**町長** 初めての情報で戸惑っているところもある。既に道内の自治体で動いているところもある。町にアプローチしてきたところもある。誘致するかどうか、しっかりした意思を持っていない。下川町に決まらなくても、連携出来るようなところも選択肢の一つとしてあるのではないか。今後、情報収集していきたい。



講習会の様子